

# 多文化共生交流モデル事業 企画書 事例集



多文化共生に向けた交流事業の企画書事例をご紹介します。  
企画される際の参考としてご活用ください。

福岡市南区役所 総務部企画振興課

## 事例①

事業名	やさしい日本語学習会
目的	外国人とのコミュニケーションにやさしい日本語が有効であることを知る機会とする。また、外国人と一緒に「やさしい日本語」を学び、コミュニケーションを図ることで、多文化共生への理解を深めるきっかけにする。
講師	「やさしい日本語」講師
対象者	日本人住民 10名程度、外国人住民 5～10名程度
場所	公民館 講堂等
開催時期・時間	開催時期：講師に相談の上、決定 開催時間：2時間
連携先・相談先	地域に住む外国人、外国人住民を知っている日本人住民、日本語学校、南区役所など
事前にすること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしい日本語の講師を決める。</li> <li>・講師と以下の内容について、打合わせを行う。 実施日時、学習内容、プログラム、当日使用する資料（投影用や配布用）、会場設営（イスや机の配置）、定員、その他当日必要な準備品など</li> </ul>
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料、投影資料</li> <li>・必要に応じて、マイクやプロジェクターなどの講演に必要な機材</li> <li>・その他、当日の運営に必要なもの</li> </ul>
プログラム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会のあいさつ・講師の紹介（5分）</li> <li>2. 講座（100分）※途中休憩を含む  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;学習会&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やさしい日本語」の基礎や話し方、書き方についての学習</li> </ul> </li> <li>&lt;交流会&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やさしい日本語」を使って外国人と会話を通して交流する （日本人にとっては学習成果の実践と今後の外国人との交流への意欲を高める機会の創出）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>3. 質疑応答（10分）</li> <li>4. 閉会のあいさつ（5分）</li> </ol> <p>※様子を見ながら、時間配分や実施内容は状況に応じて変更する。</p>

## 事例②

事業名	外国人住民による講演会
目的	外国人住民を講師として招き、母国の文化や生活習慣、日本での生活との違いなどの話を聴き、多文化共生への理解を深めるきっかけにする。
講師	外国人住民
対象者	日本人住民 定員 20 名程度
場所	公民館 講堂等
開催時期・時間	開催時期：講師に相談の上、決定 開催時間：1 時間 30 分
連携先・相談先	地域に住む外国人、外国人住民を知っている日本人住民、南区役所など
事前にすること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人の講師を決める。</li> <li>・ 講師と以下の内容について、打ち合わせを行う。 実施日時、講演テーマ、プログラム、当日使用する資料（投影用や配布用）、会場設営（イスや机の配置）、定員、その他当日必要な準備品など</li> </ul>
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配布資料、投影資料</li> <li>・ 必要に応じて、マイクやプロジェクターなどの講演に必要な機材</li> <li>・ 講演後に茶話会を行う場合は飲み物などの準備</li> <li>・ その他、当日の運営に必要なもの</li> </ul>
プログラム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会のあいさつ・講師の紹介（10 分）</li> <li>2. 講演（40 分） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己紹介、日本にきたきっかけ</li> <li>・ ふるさとの国の紹介</li> <li>・ 日本で暮らしてみて気づいたこと、生活習慣や文化の違いなど</li> <li>・ これからの夢、日本での生活でやってみたいことなど</li> </ul> </li> <li>3. 質疑応答（15 分）</li> <li>4. 茶話会・講師を囲んでみんなで感想共有（20 分）</li> <li>5. 閉会のあいさつ（5 分）</li> </ol> <p>※様子を見ながら、時間配分や実施内容は状況に応じて変更する。</p>

### 事例③

事業名	地域住民と日本語学校留学生の料理交流会
目的	南区に居住する外国人学生が、地域住民と共に、食を通してその国を身近に感じ、生活風習や文化に触れてみることを目的とする。また、交流することで、相互理解を深めるきっかけにする。
対象者	地域住民(日本人)12名程度、日本語学校留学生12名程度 ※4グループ(6人ずつ)を想定
場所	公民館 講堂等
開催時期・時間	開催時期:平日の午前または午後(学校の授業の時間帯を想定) 開催時間:2時間程度 ※実施時間が予定より長くなって帰りが遅くならないよう配慮する。
連携先・相談先	日本語学校、南区役所など
事前にする事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携する日本語学校と実施日時を決める</li> <li>・ 学校や留学生に相談しながら料理のメニューを決める。実施時間内で調理が終わるメニューを考える。</li> <li>・ 食材等で食べることができないもの(肉類、アルコールが入った調味料など)や、飲み慣れているお茶類についてなど、当日準備するものの情報収集を行う。</li> <li>・ 開催前までに、参加者のグループ分けをしておく。 (グループのメンバーが日本人だけ、外国人だけに偏らないよう配慮する。)</li> </ul>
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人数分の材料を準備する。(日本のスーパーなどには販売されておらず、外国の食材店にしか売っていないものを使用する場合は、約1ヶ月前には食材店を訪れ在庫を確認する。)</li> <li>・ 公民館にある調理器具や食器の種類や数の確認</li> <li>・ ペーパータオル、ふきん、ゴミ袋など調理で必要なもの</li> <li>・ 当日の参加者の名札シールなど</li> <li>・ その他、当日の運営に必要なもの</li> </ul>

<p>プログラム</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会のあいさつ(5分)</li> <li>2. グループの中で自己紹介(15分)</li> <li>3. 作り方の説明(10分)</li> <li>4. 調理スタート(30分)</li> <li>5. 配膳・食事スタート(20分)</li> <li>6. 後片付け・食器洗いなど(20分)</li> <li>7. 感想タイム(15分) 一緒に作って食べてみた感想や次回はこんな料理を作ってみたいなど</li> <li>8. 閉会のあいさつ(5分)</li> </ol> <p>※様子を見ながら、時間配分や実施内容は状況に応じて変更する。</p>
<p>メニューの例</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母国の家庭料理</li> <li>・ 旧正月など外国の季節の料理</li> <li>・ カレー(ネパール、インド、スリランカなど)</li> <li>・ フォー、春巻き、バインミー(ベトナム)</li> <li>・ 外国のスイーツ(ベトナムのチェーなど)</li> </ul>

## 事例④

事業名	カレー作り交流会
目的	外国人住民と日本人住民が、共に食を通してその国を身近に感じ、生活風習や文化に触れてみることを目的とする。また、交流することで、相互理解を深めるきっかけにする。
講師	外国人住民 3名
対象者	日本人住民 ※日本人 12名程度、3グループ(講師含め5人ずつ)を想定
場所	公民館 講堂等
開催時期・時間	開催時期:講師に相談の上、決定 開催時間:2時間程度
連携先・相談先	地域に住む外国人、外国人住民を知っている日本人住民、南区役所など
事前にすること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の講師を決める。</li> <li>・実施日時を講師に相談しながら決める。</li> <li>・食材等で食べることができないもの(肉類、アルコールが入った調味料など)や、飲み慣れているお茶類についてなど、当日準備するものの情報収集を行う。</li> <li>・参加者のグループ分けをしておく。 (各グループの中に外国人講師に1人ずつ入ってもらう)</li> </ul>
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数分の材料を準備する。(日本のスーパーなどには販売されておらず、外国の食材店にしか売っていないものを使用する場合は、約1ヶ月前には食材店を訪れ在庫を確認する。)</li> <li>・公民館にある調理器具や食器の種類や数の確認</li> <li>・ペーパータオル、ふきん、ゴミ袋などの調理に必要なもの</li> <li>・当日の参加者の名札シールなど</li> <li>・その他、当日の運営に必要なもの</li> </ul>

プログラム	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 開会のあいさつ・講師の紹介(10分)</li><li>2. グループの中で自己紹介(10分)</li><li>3. 作り方の説明(10分)</li><li>4. 調理スタート(30分)</li><li>5. 配膳・食事スタート(20分)</li><li>6. 後片付け・食器洗いなど(20分)</li><li>7. 感想タイム(15分) 一緒に作って食べてみた感想や次回はこんな料理を作ってみたいなど</li><li>8. 閉会のあいさつ(5分)</li></ol> <p>※様子を見ながら、時間配分や実施内容は状況に応じて変更する。</p>
-------	--

## 事例⑤

事業名	文化交流会 ～ファッションショー～
目的	外国人住民が、日本人住民と共に、両国の文化などを学び、一緒に体験・交流することで、相互理解を深めるきっかけにする。
講師	外国人住民
対象者	日本人住民、外国人住民 ※日本人 15 名程度、外国人 5 名～10 名程度
場所	公民館 講堂等
開催時期・時間	開催時期：講師に相談の上、決定 開催時間：2 時間程度
連携先・相談先	地域に住む外国人、外国人住民を知っている日本人住民、日本語学校、浴衣や着物などの和服を当日着用可能な日本人、民族衣装を持っていて当日着用可能な外国人、日本語学校、南区役所
事前にすること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人の講師を決める。</li> <li>・ 講師と以下の内容についての打合わせを行う。 実施日時、プログラム、当日使用する資料（投影用配布用）、会場設営（イスや机の配置）、着替えのための部屋について、その他当日必要な準備品など</li> <li>・ 飲み物などを準備する場合は、飲み慣れているお茶類についてなど、当日準備するものの情報収集を行う。</li> <li>・ 参加者のグループ分けをしておく。</li> </ul>
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配布資料、投影資料</li> <li>・ 必要に応じて、マイクやプロジェクターなどの講演に必要な機材</li> <li>・ 講演後に茶話会を行う場合は飲み物などの準備</li> <li>・ 当日の参加者の名札シールなど</li> <li>・ 民族衣装、浴衣または着物など</li> <li>・ ファッションショーの BGM</li> <li>・ 着替えのための部屋の準備</li> <li>・ その他、当日の運営に必要なもの</li> </ul>



プログラム	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 開会のあいさつ 講師の紹介(15分)</li><li>2. 講話「〇〇ってどんな国？」(20分) 外国人講師によるふるさとの国の紹介 文化や生活習慣など日本との違い ……など</li><li>3. グループに分かれて自己紹介(30分) やさしい日本語で自己紹介(趣味や特技、好きな食べ物など)</li><li>4. 休憩・ファッションショーの準備(15分)</li><li>5. 両国の民族衣装のファッションショー(20分)</li><li>6. 写真撮影タイム(15分)</li><li>7. 閉会のあいさつ(5分)</li></ol> <p>※様子を見ながら、時間配分や実施内容は状況に応じて変更する。</p>
-------	--

## 事例⑥

事業名	ベトナムのことを学んで、ベトナム旧正月フェスティバルに行ってみよう!
目的	外国人コミュニティ主催のイベントへの参加を通して、日本人が福岡市に住む外国人を身近に感じるきっかけにする。また、ベトナム人住民から事前にベトナムやベトナムの旧正月について学びイベントへ一緒に参加することで、交流を深める。
講師	ベトナム人住民
対象者	日本人住民、ベトナム人住民 ※日本人 10~15 名程度、ベトナム人住民 1人以上を想定
場所	・事前レクチャー 公民館の講堂又は学習室など ・イベント参加 福岡市内でイベントが行われる会場
開催時期・時間	開催時期:ベトナム旧正月フェスティバルが行われる時期 開催時間:事前レクチャー 1時間~1時間 30分程度 イベント参加 1時間~2時間程度
連携先・相談先	地域に住むベトナム人、ベトナム人住民を知っている日本人住民、南区役所など
事前にすること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡市内で行われる予定のベトナム旧正月フェスティバルの日時や場所の情報収集を行う。</li> <li>・旧正月について教えてくれるベトナム人の講師を決める。</li> <li>・講師と以下の内容について、打ち合わせを行う。 実施日時、プログラム、定員、使用する資料(投影用配布用)、会場設営(イスや机の配置)、フェスティバルでの集合場所や時間、その他必要な準備品など</li> <li>・フェスティバルでの実施内容(会場の回り方など)</li> </ul>
準備する物	<p>【事前レクチャー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料、投影資料</li> <li>・必要に応じて、マイクやプロジェクターなど必要な機材</li> <li>・その他、当日の運営に必要なもの</li> <li>・旧正月フェスティバル会場への行き方や集合場所、集合時間の案内文</li> </ul>

<p>プログラム</p>	<p><b>【事前レクチャー】 ※1時間を想定</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会のあいさつ(5分)</li> <li>2. ベトナム旧正月についての講話(30分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の自己紹介(日本にきたきっかけなど)</li> <li>・ベトナムについて(地理、人口など)</li> <li>・ベトナムの旧正月「テト」について テトの休み、テトですること、飾るもの、おせち料理など</li> </ul> </li> <li>3. 質疑応答(15分)</li> <li>4. 参加するフェスティバルについての案内(5分)</li> <li>5. 閉会のあいさつ(5分)</li> </ol> <p>※様子を見ながら、時間配分や実施内容は状況に応じて変更する。</p> <p><b>【イベント見学】 ※1時間を想定</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会場に集合 見学の仕方や見学後の集合場所・時間を伝える</li> <li>2. イベントの見学(50分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分かれて見学する。(参加人数による)</li> <li>・ベトナム人講師やベトナム人住民と一緒に会場を回る。 (分からないことや気づき、感想などを話し、交流)</li> </ul> </li> <li>3. 集合・閉会のあいさつ(5分)</li> </ol> <p>※様子を見ながら、時間配分や実施内容は状況に応じて変更する。</p> <hr/> <p>※事前レクチャーとイベント見学の実施日について講師と調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント見学とは別日に事前レクチャーを実施</li> <li>・ 同日に実施する場合は、事前レクチャー実施後に参加者全員でイベント会場へ移動</li> </ul>
--------------	--

## 事例⑦

事業名	多文化共生まちづくりワークショップ
目的	外国人と日本人住民にとって暮らしやすいまちにするためにはどうしたらいいか日常生活の中での問題や課題などを、外国人と日本人住民と一緒に話し合い、多文化共生のまちづくりを目指す。
対象者	日本人住民で地域活動に関わっている人、外国人住民 ※日本人 10~15 名程度、外国人 5 名程度を想定
場所	公民館 講堂など
開催時期・時間	※開催時期と時間帯については、参加者の参加しやすい日時を検討する。 開催時間 2 時間を想定
連携先・相談先	自治協議会および各種団体、自治会又は町内会、公民館、 地域に住む外国人（日本語をある程度話せる人や、ある程度長く地域に住んでいる人）、 地域に住む外国人住民を知っている日本人住民、南区役所など
事前にとすること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加して欲しい外国人住民を探す。</li> <li>・実施日時を決める。</li> <li>・当日、参加者同士で話すテーマ、進行内容、進行役（ファシリテーター）、会場設営（イスや机の配置）、当日準備するものなどを決める。</li> <li>・事前にグループワークのためのグループ分けをしておく。 （1グループ 4~5 人を想定。各グループのメンバーの構成は、日本人だけのグループにならないようにする。また、グループファシリテーターができる人、書記ができる人が参加者の中にいる場合は、その人たちに各グループに入ってもらおう。）</li> </ul>
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料、投影資料</li> <li>・必要に応じて、マイクやプロジェクターなどの必要な機材</li> <li>・当日の参加者の名札シールなど</li> <li>・その他、当日の運営に必要なもの（模造紙、付箋、水性マーカー、飲み物など）</li> </ul>

プログラム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会のあいさつ(5分)</li> <li>2. ファシリテーターの自己紹介(5分)</li> <li>3. ワークショップの目的と本日の流れの説明(10分)</li> <li>4. グループの中で自己紹介(15分)</li> <li>5. グループワークのテーマの共有とテーマを考えるための話題提供 (15分)</li> </ol> <p>・テーマ例 日本人/外国人が困ってること、もっとこんなふうになったらいいなと思うこと</p> <p>・話題提供例 目指したい多文化共生のまちの姿やビジョンの説明 それを達成するために解決したい問題や課題の例など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. グループワーク(4~5人1組を想定)(30分)</li> <li>7. 全体共有 各グループで出た意見の発表(20分)</li> <li>8. 茶話会で感想などの意見交換(15分) 思ったことやこれからもっと考えたいことなどをグループの中で話す。</li> <li>9. 閉会のあいさつ(5分)</li> </ol>
-------	--

## 交流事業で外国人と打合せをする場合のポイント

外国人の方に講師を依頼したり、あるいは企画内容について相談したりする場合、下記のポイントを意識して打ち合わせを行いましょう。

- 事業の目的をはっきりと伝えましよう。
- 打合せの前に、「この日に何の打ち合わせをするのか」などを、事前に簡潔に伝えておきましよう。
- 話す時や準備する資料の言葉は、漢字にはふりがなをふるなど「やさしい日本語」を心がけ、あいまいな表現は避けるようにしましよう。
- 打合せや本番の所要時間(○時~○時まで)、会場の名称や住所などは、正確に伝えましよう。
- 食べ物や飲み物などを使用する場合、気を付けておいた方がよいことを事前に聞いておきましよう。